

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	社会保障情報・調査研究費		担当部局庁	国立社会保障・人口問題研究所		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度		担当課室	総務課		課長 山元 栄	
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	毎年度の社会保障給付費総額や機能別・制度別にみたデータ等の集計及び国際比較を行うほか、過去に遡った時系列のデータ整備を行うことにより、わが国の社会保障制度の現状や推移を示す基礎的データを提供する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ILO基準に沿った社会保障給付費総額及び機能別(高齢、障害、保健医療などの区分)、制度別(年金、医療、介護などの制度区分)にみたデータの集計 ・OECD基準に沿った社会支出総額及びGDP(国内総生産)に対する比率、政策分野別にみたデータなどの集計及び国際比較 ・過去に遡った社会保障給付費に関する時系列データの整備 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算					
		繰越し等					
		計	5	5	3	3	3
	執行額	5	4	3			
	執行率(%)	100%	80%	100%			
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度
研究成果を広く社会に提供し、国民の福祉の向上に寄与することを目的としているが、これらを定量的な指標を設定することは困難である。	成果実績	—	—	—	—	—	—
	達成度	%	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	研究成果を広く社会に提供し、国民の福祉の向上に寄与することを目的としているが、これらを定量的な指標を設定することは困難である。	活動実績(当初見込み)	—	—	—	—	() ()
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	0.1		研究会開催経費の減			
	委員等旅費	0.1		研究会開催経費の減			
	試験研究費	3	3				
	計	3	3				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	契約金額が少額のため、見積合わせにより競争性を確保している。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>発注などの契約手続については、入札や見積合わせにより競争性を確保する等により予算執行の効率化を継続しつつ、研究内容の質を維持するために必要な取組を実施する。 なお、社会保障給付費は、平成23年度中に統計委員会の諮問を行い、基幹統計指定することとなり、ますます国民にとって必要な統計として充実を図っていく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>ILO基準に沿った社会保障給付費総額及び機能別、制度別にみたデータの集計等に必要な経費であるが、恒常的に多額の不用が生じているわけではないが、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>研究会開催経費の縮減を図り、経費の効率化を図った。 (反映額: ▲0.3百万円)</p>			

国立社会保障・人口問題研究所
3百万円

公表資料等印刷、ホームページ作成

C 事務費
3百万円

〔消耗品費、アルバイト雇い上げ費〕

【随意契約】

A 大和綜合印刷(株)
0.1百万円

〔公表資料等印刷〕

【随意契約】

B (株)アーバン・コネクションズ
0.2百万円

〔英文HP作成〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大和綜合印刷(株)	公表資料印刷	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)アーバン・コネクションズ	英文ホームページ作成	0.2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					